

# コーポレート・ガバナンス

## フジタの考え方・体制

当社のコーポレート・ガバナンスは、経営を迅速かつ公正に行うための社内機構であり、監査機関を設置し第三者視点のチェック機能により透明性の確保および経営の質の向上を目指すものです。

その中核となる内部統制では、職務執行時における管理体制の透明性確保や、業務上のコンプライアンス(法令遵守)、リスク管理体制などを規定しています。当社では従業員全員が「経営判断の原則」を正確に理解し、各々の立場で判断・行動することが大切であると考えています。このコーポレート・ガバナンス体制は、大和ハウスグループのコーポレート・ガバナンスガイドラインに則したもので、同体制の一部を構成するものでもあります。

### 内部監査について

監査部では、事業所・グループ会社の役職員に対するヒアリング、書類などの確認を実施することにより、法令および規

程などに則った業務が遂行されているかの検証・評価を実施しています。

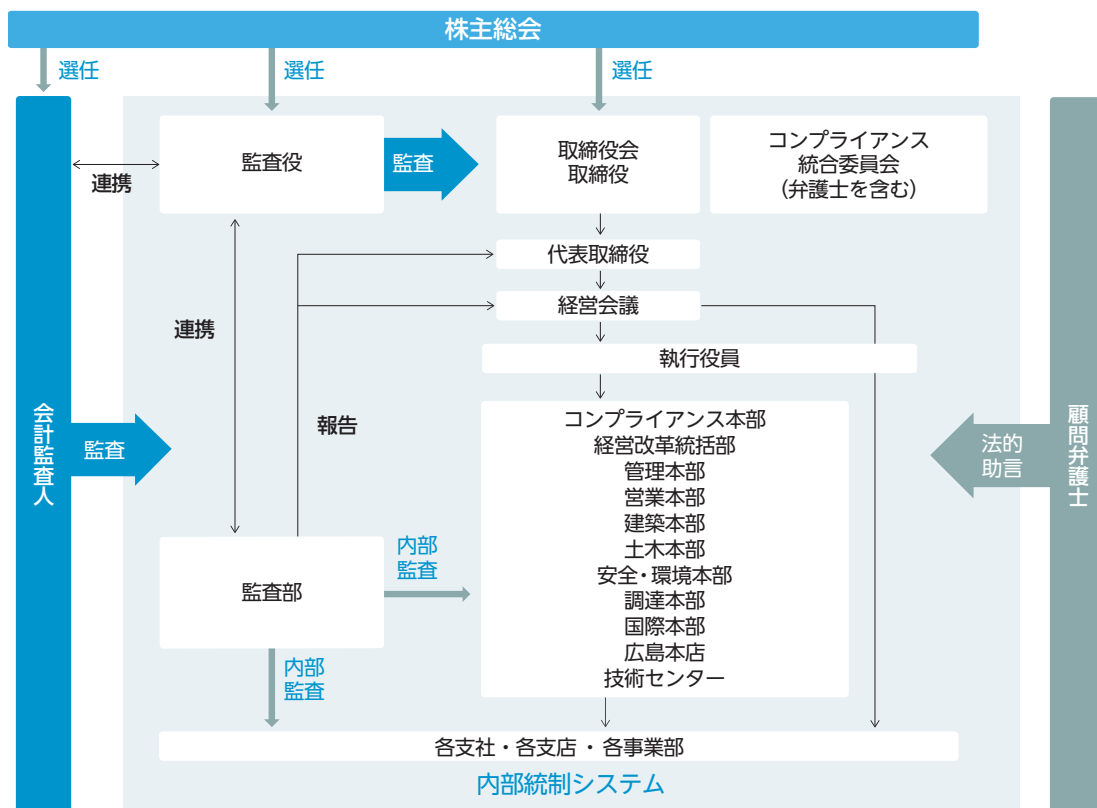
監査の結果、改善すべき指摘事項が発生した際、その点について対応策の提出を求めるとともに主管部門からの指導につなげています。

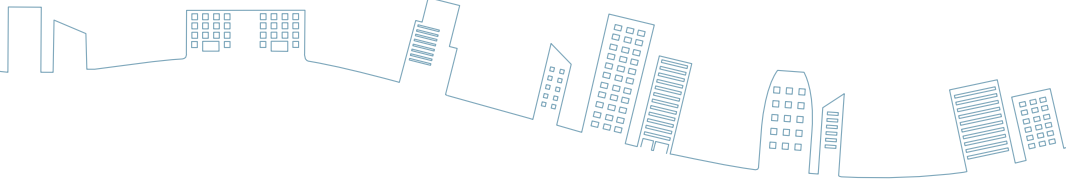
2020年度の監査体制は、チェックリストによる事業所での自己点検(毎月)と結果の社内展開、本監査での確認、必要に応じたフォロー監査の3段構えの構造とし、監査を実施しました。

### ガバナンス体制の強化

2020年度には社内弁護士を1名追加で雇用し、さらなるガバナンス体制の強化を図りました。

2021年度コーポレート・ガバナンス体制図

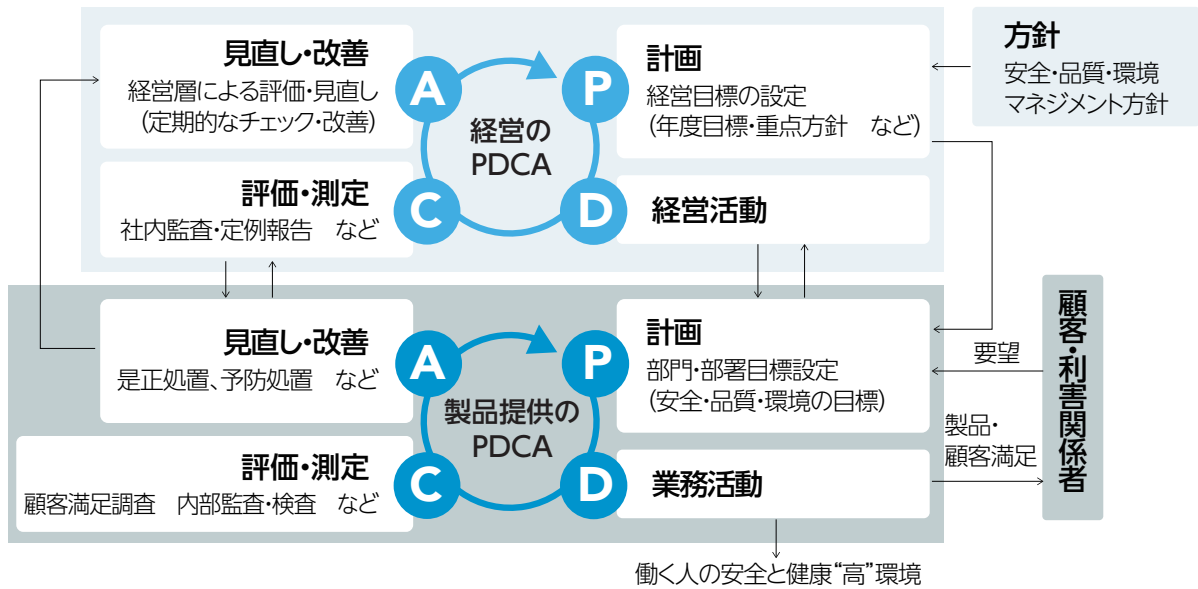




## ■ 統合マネジメントシステム

営業、設計、工事、調達、技術、研究など、すべての部署の業務はマネジメントの要素でもあり、それぞれ目標達成とリスク回避が必須です。そこで規格認証に沿って、部門ごと、また品質、環境、安全ごとに行われていた運用を改善し、①安全、品質、環境ほか、すべての業務を扱う(マネジメント要素の統合)、②本社、支店などを含む全社一体で運用する(組織の統合)、③当社の日頃の業務プロセスに規格要求事項を当てはめる(業務の統合)の3点を実施し、運用しています。

2020年度はマネジメントの目的を、「安全・品質・環境」にとどまらず「目標達成とリスクの回避」へと大きく転換し、それとともにマニュアル類の改定、全部門のマネジメントレビューのフィードバック、マネジメント教育のレベルとカリキュラム構成の体系化、国際本部・事業部版マニュアルの改定に取り組みました。このほか重大な品質事故につながる施工プロセスの改善、パトロールの強化、品質・環境・物損事故報告のワークフロー化など、統合度をさらに改善しました。



### 安全・品質・環境マネジメント方針

「自然を 社会を 街を そして人の心を 豊かにするために  
フジタは たゆまず働く」という企業理念のもとに、顧客満足を提供し社会的責任を果たすことが、フジタの企業活動の目的である。

そのためにフジタは課題となるリスクを見極め、これを低減するとともに、法令他の要求事項や自ら定める基準等を順守し、次の基本姿勢をもって企業活動のプロセスとその成果を検証・改善し、マネジメントを持続的に成長させる。

- 安全** 安全で快適な職場環境を提供し、フジタの管理下で働くすべての人々の協議および参加をとおして信頼される企業であり続ける。
- 品質** 求められる製品とサービスを確かな技術で提供し、顧客から信頼される企業であり続ける。
- 環境** 「フジタ・エコ憲章」に基づき、汚染予防・環境保護を通じて、地球環境との調和を図り、社会から信頼される企業であり続ける。

2019年1月改定

# コーポレート・ガバナンス

## マネジメントシステムの運用・内部監査・ マネジメントレビュー

当社のマネジメントシステムは、マニュアルや要領に従い、要求事項や社会的課題からリスクと機会を見極めて目標を設定し、活動と成果を評価の上、継続的に改善しています。

2020年度の内部監査では、「効果的な業務改善につながる内部監査の実施」を監査方針に掲げ、再発防止に必要な重点項目を抽出、展開しました。

運用面では感染症対応としてリモート監査を試行し、件数は前年度より減りましたが、各部門合わせて159件の内部監査を実施し、部門ごとに内部監査報告会を実施しました。

また各部門、経営層がそれぞれ実施した年2回のマネジメントレビューでは、目標達成や運用を評価し、マネジメントシステムの改善課題を踏まえた6項目の社長指示事項として「プレコンストラクションアプローチ」「現場状況に即した施工計画・作業手順」「原因分析と情報共有」「マネジメントシステムの活用」「デジタルイノベーション促進と働き方改革」「健康維持と企業価値の向上」を展開しました。

このほか、マネジメントシステム教育の体系化と展開、審査指摘事項37項目、マネジメントレビュー6項目、監査5項目など58項目の改善を行い、マニュアル、共通要領、基本計画書など9文書を改定しました。

## マネジメントシステムと外部認証

現在フジタ全部門一括で、ISO9001(品質)、ISO14001(環境)、ISO45001(安全)規格の認証登録を一般財団法人建材試験センターから受けています。同センターによるフジタのマネジメントシステム統合度は100%の判定で、審査も統合審査方式で行われています。このほか、関係会社2社、海外6拠点でも独自に認証登録しています。

## 品質事故とマネジメント改善

2020年度は工事中の重大な品質事故が複数発生しました。技術上の処置対応もさることながら、工事再開にあたっては、お客さまからマネジメント上の分析を踏まえた再発防止策を強く求められました。

マネジメントの専門家による「施工プロセス」の分析を行い、役割と責任、担当者の力量、検査・承認のステップほかの課題が抽出されたことから、組織体制と支援、教育体系、パトロールの充実などの再発防止をまとめるとともに、全店展開に向けて「施工管理要領」を改定し、一連の改善を完了しました。事故のマネジメント分析は再発防止にも有効であることから、現在も定期的にも実施しています。